



人的交流プロジェクトチーム発行
R6年度・9号 令和7年1月
小田原支援学校 支援連携部



小田原支援学校 HP
はこちらから



ODAWARASIEIN
小田原支援学校
公式Instagram

題字:小田原支援学校 高等部2年生

小田原支援学校

自立活動の取り組み紹介

子どもたちが主体的に学習に取り組めるよう、小田原支援学校では、さまざまな工夫のある自立活動の取り組みを行っています。最近おこなった3つの取り組みをご紹介します！

出張プラネタリウムが 小田原支援学校にやってきました！

12月16日(月)に、星つむぎの村による出張プラネタリウムが小田原支援学校にやってきました。今回は、公益財団法人神奈川心身障害児福祉基金財団の先駆的事業助成をいただき、昨年引き続きご招待することが出来ました。当日、知的障害教育部門高等部小田原校舎、湯河原校舎の生徒たちに合計7回の投影を行ってもらい、子どもたちの笑顔、感動、歓喜あふれる最高の一日をプレゼントしていただきました。

生徒たち一人ひとりの誕生日にちなんだ星座を紹介してもらい、広い広い宇宙と、私たちが住む地球の壮大なものごたり、生命のふるさとである美しい宇宙と地球、心温まるメッセージ・・・床に横になりながら壮大な宇宙の中にいるような感覚にひたりながら、みんなで星や宇宙を共有するという貴重な20分間でした。

「すごい!」「きれい」という声が何度も聞こえてきて、生徒たちもとても楽しそうに鑑賞していました。今まで星には興味がなかったという生徒も、星に興味が出てきたので家でも見てみたい、という感想を述べていました。「自分の星座のことを話してくれてうれしかった」「感動しました」「なんだか涙が出てきました」「まるで宇宙に行けたようになれました」という感想を書いてくれた生徒もいました。



←星つむぎの村についてはこちら

インクルーシブなおもしろ自転車であそぼう！

年齢や障がいにかかわらず、誰もが楽しめる自転車を作っている、オートクラブ・IZU さんより、インクルーシブ自転車の無償モニターを受けることになり、「2+2サイクル」と「ぐるぐるサイクル」というインクルーシブ自転車が小田原支援学校にやってきました。

さっそく小学部や中学部で大人気。先生と一緒に、または生徒どうして昼休みなどに中庭で楽しんでいます。

いろいろな学年の児童と一緒に遊ぶと、自然な交流の機会となったり、互いに見合って存在を感じるきっかけとなったりしています。

3月までお借りすることになっています。



2+2サイクル
4輪の自転車で、後部座席の2人がペダルをこぎます。安定感のある自転車です。

ぐるぐるサイクル
(公式 HP より抜粋)
手でレバーを回し、前後左右に動きます。

デジリハで楽しもう！

デジリハ (Digital Interactive Rehabilitation System) は、リハビリを遊びに変える、デジタルリハビリツールです。小型センサーとデジタルアートで幅広い目的、利用児へ場所を問わず手指の運動、視線運動、粗大運動に活用することができます。

小田原支援学校は、デジリハ for school プロジェクトに採択され、デジリハの必要機材 (PC, センサー類) を無償でお借りし、教育場面での効果検証を (株) デジリハと一緒にやっていくことになりました。現在、各学部で早速体験し、今後体験の様子の発信とともにアプリケーションの開発協力をしていく予定です。

自立活動係を中心に自立活動室の整備、技能員さんによる赤外線センサー設置、各学部の代表、情報係とプロジェクトチームを作成し、今後子ども達の可能性をさらに引き出していきます。



自立活動室の壁を白く塗り、美しく投影できるようにしました。